



道東の新産業構築を応援!

未来の野菜生産地へ!

【2024年6月21日】

近年温暖化により従来の主要産地では野菜の栽培が難しくなり、生産量や品質の低下がみられています。高温障害が問題となっている中、実は道東の冷涼な気候が野菜作りに適していることがわかりました。

そこで視察に訪れたのは別海町、(株)ジャパンベジタブルズ。農地は120haを超え、15種類の野菜・果樹の栽培がされています。

渡瀬代表は「釧路根室管内をはじめとした道東の冷涼な気候をいかし、この地域を農作物の中心地としていきたい」と熱く語られていました。

レタスやじゃがいも、ほうれんそうなどの高温障害に弱い野菜が安定して収穫されることが期待できます。



今年収穫されたブロッコリー

田中ひできは、令和6年第2回定例道議会予算特別委員会で、釧路地域の野菜生産振興に向けた北海道の今後の取り組みについて質問。



佐藤英道衆議と地元議員による農場視察

農政部長は「釧路根地域においては、生産者の方々の所得の確保や、新鮮な野菜を安定的に供給するため、新たな野菜産地づくりに取り組む動きが見られているところです。」

道としては、だいこんやブロッコリーなどの野菜について、国の事業を活用しながら、集出荷施設や簡易な予冷庫の整備など、生産体制の強化を図っております。今後、新たな野菜の導入や先進事例の情報提供を進めるほか、関係機関・団体と連携に努めてまいります。」と答弁しました。



株式会社JAPANベジタブルズにて撮影

酪農経営を支援!!

田中が質問!

田中ひでき
道政通信

「田中ひできの質問(要旨)」

自給飼料の増産、牛乳乳製品の需要拡大について、酪農経営が外部要因からの影響を押さえ、体質強化を図るためにはどちらも重要な取り組みと考えます。

今後酪農対策をどのように進めて行くのか見解を伺います。(牛乳乳製品の輸出拡大も含めて)



農政部長答弁(要旨)

我が国の生乳生産量の約6割を占めます本道酪農が、地域を支える基幹産業として発展して行くためには、酪農家の方々が安心して生産できる環境を整えることが重要でございます。

道では、酪農経営の体質強化に向け、後継者や担い手育成・確保はもとより、計画的な草地の整備改良やコンストラクターなど営農支援システムの整備、スマート農業技術による省力化に取り組んできました。

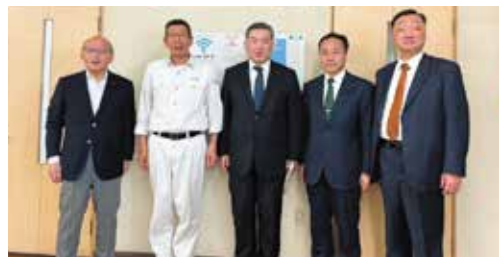
本道の恵まれた土地資源をフルに活用しながら自給飼料の生産拡大、耕畜連携の取組を加速するとともに、**牛乳乳製品の輸出**を含めました消費拡大に向け、強い酪農経営の確立を図ってまいります。



釧路市の雇用創出に尽力! 田中が質問!

道議会公明党は、愛媛県西条市にある「株式会社サイプレス・スナダヤ」を訪れました。釧路市の日本製紙釧路工場跡地に、道産トドマツを取り扱う新工場を計画しています。

工場の新設により最大約180名の雇用創出が見込まれます。関連産業にも経済的利益が生まれ、釧路市の経済にプラスの影響を与えることが予想されます。



4月16日スナダヤにて撮影



製材工場の詳細説明を受ける様子(一番右)

「田中ひできの質問(要旨)」

スナダヤの進出に伴い、今後現存する木を刈って、新たに植林するのでありますから、CO2を吸収できる森林が道内に広がることとなり、ゼロカーボン北海道の実現にも貢献するものと考えますが、道の所見を伺います。



水産林務部長答弁(要旨)

道では計画的な伐採と着実な植林による森林の若返りに加えまして、二酸化炭素を長期間固定する木材利用を推進しております。

伐採・植林・保育作業の効率化に向けまして、即戦力となる林業の担い手・確保に取り組むほか、「HOKKAIDO WOOD」ブランドのPRを通じて道産の木製品や建築材の利用拡大を図るなど、ゼロカーボン北海道の実現にしっかり貢献できるように取り組んでまいります。

田中ひでき道政通信の発送先をご紹介ください!

ご友人のお名前・ご住所をFAX(0154-65-8064)またはQRコードからお送りください。
住所変更した方もこちらにご記入ください。

お名前	ご住所 ※アパート名、マンション名もご記入ください
フリガナ	〒



▲スマホの方は
コチラ

道政に関するご意見・ご要望をお寄せください

北海道議会議員 田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064

田中ひでき
オフィシャルwebサイト



制作/株新生